

電気事業における令和3年度主要事業

未来への投資

水力発電所の建設等の推進

予算額 47億9千1百万円 (R2:28億2千5百万円)

再生可能エネルギーの供給拡大を通じて地域の発展に貢献するため、長野県の豊富な水資源を活用した新規水力発電所の建設と、老朽化した基幹発電所の大規模改修等を積極的に推進

・発電所数の倍以上[14か所(H28)⇒36箇所(R7)] ・発電電力量の増加[19.7% 23,000世帯分]

種別	発電所名 地点名	所在地	最大出力 (想定)	年間発電 電力量(想定)	運開 (予定) 年度	総事 業費 (億円)	予算額(千円)	
							R3予算額	債務設定額
新規 発電所 建設	県管 理ダ ム	横川蛇石	辰野町	199kW	1,512千kWh (約420世帯)	R2	6.2	1,183,220 (建設費) 27,500 (調査費) 11,358,782
		信州もみじ湖	箕輪町	199kW	1,100千kWh (約310世帯)	R3	4.9	
		くだもの里 まつかわ	松川町	380kW	2,100千kWh (約580世帯)	R3	7.2	
	新規 電源 開発 地点 発掘 プロ ジェ クト	小渋えんまん	松川町	199kW	1,160千kWh (約320世帯)	R3	3.9	
		与田切川 上流地点	飯島町	1,550kW	5,500千kWh (約1,530世帯)	R6	22.8	
		湯の瀬ダム地点	長野市	850kW	3,600千kWh (約830世帯)	R6	21.9	
		湯川ダム地点	御代田町	199kW	1,240千kWh (約350世帯)	R5	5.4	
		秋山(阿知端下砂 防ダム)地点	川上村	134kW	950千kWh (約260世帯)	R5	5.3	
		中田切川地点	駒ヶ根市	2,200kW	13,000千kWh (約3,800世帯)	R7	調査中	
		大泉地点	南箕輪村	350kW	2,000千kWh (約550世帯)	R6		
		奥裾花地点	長野市	30~50kW	300千kWh (約80世帯)	R7		
		立沢ため池地点	富士見町	50~150kW	735千kWh (約200世帯)	R7		
		七久保北村地点	飯島町	50~150kW	336千kWh (約300世帯)	R7		
		その他候補地点	調査中					
大規 模改 修等	西天竜	伊那市	3,000kW	16,100千kWh (約4,450世帯)	R3	42.6	2,952,191 (建設費) 24,646,274	
	美和	伊那市	12,900kW	47,600千kWh (約13,200世帯)	R7	70.0		
	春近	伊那市	25,200kW	108,000千kWh (約30,000世帯)	R7	131.6		
	与田切	飯島町	6,400kW	26,300千kWh (約7,300世帯)	R6	16.6		
	小渋第3	松川町	550kW	2,669千kWh (約740世帯)	R6	7.7		
	出力 増強	裾花	長野市	15,480kW	58,000千kWh (約16,100世帯)	R3		7.9
	建設 部か ら移 管	松川ダム発電所	飯田市	1,660kW	5,700千kWh (約1,580世帯)	R6		7.4
奈良井発電所		塩尻市	980kW	5,300千kWh (約1,470世帯)	R7	6.9		
豊丘ダム発電所		須坂市	180kW	800千kWh (約220世帯)	R6	2.4		
合計						370.7	4,790,010	37,872,966

先端技術の大胆な活用

水力発電所のスマート保安推進事業

予算額 1億4千7百万円 (R2:5千5百万円)

人材不足と発電所数の倍以上の整備を見据え、保守管理の高度化・効率化を図るため、スマート保安に取り組み、次世代監視制御ネットワークシステムを構築する

項目	事業費	内容
次世代監視制御ネットワークシステム構築事業	146,179千円 (債務317,900千円)	・制御所以外の端末でも監視可能なシステムの構築 ・新たなセンサー類の導入などによる保守の省力化・高度化 ・ビッグデータを活用した雨量・流入予測や故障予知

水素ステーション実証事業 予算額 3千6百万円 (R2:3千3百万円)

項目	事業費	内容
燃料電池車の複数台配置による効用の検証 各種イベント会場等へのFCVによる電力供給	35,980千円	・2台のFCV (R3年2月に2台目配置)を活用し、実証事業を推進 ・水素の利活用に関する県民の理解促進のための各種イベント会場等へのFCVからの電力供給

リスクマネジメント

安全・安心の確保に向けた取組 予算額 9千8百万円 (R2:1千5百万円)

項目	事業費	内容
〔拡〕 水力発電所の「自立運転化」(再掲)	88,000千円	自立運転機能を付加
〔拡〕 「地域連携水力発電マイクログリッド」構築(再掲)	9,350千円	防災拠点等へ電源を供給

柔軟で俊敏な組織づくり

電気・水道事業共通事業

主な内容	全体事業費
〔新〕 企業局スマート化推進センター設置	-
しごと改革・働き方改革の推進 ・モバイル端末等ICTの活用による生産性の向上 等	24,649千円
〔拡〕 持続可能な経営のための戦略的な広報の実施 ・広報用PR動画の作成 等	32,930千円

人材の育成

- 国等との交流推進
 - ・技術職員を国へ研修派遣(経済産業省 平成31年4月1日～)
 - 技術研修・継承
 - ・業務に必要な資格(電気主任技術者等)取得研修会の受講促進
- 〔新〕 ・スマートグラスによる遠隔指導
〔新〕 ・キャリア形成支援のためのコース別研修プログラムの構築□

地域への貢献 地域との連携

地域連携水力発電マイクログリッド構築事業

予算額 9千8百万円 (R2:1千5百万円)

・企業局の発電所立地市町村において、自立運転可能な発電所が一つ以上存在することを目指して推進
・災害による長期停電時等において、企業局の発電所から地域防災拠点、一般家庭等への電力供給の実現に向けた調査・検討を実施

項目	事業費	内容
〔拡〕 水力発電所の「自立運転化」	88,000千円	大鹿・裾花発電所の自立運転化改修、新規発電所運転開始(もみじ湖、くだもの、えんまん)
〔拡〕 「地域連携水力発電マイクログリッド」構築	9,350千円	R2年度の総務省の調査成果を受け、構想の実現に向け、自治体・電力会社等と研究

再エネ普及拡大に向けた技術支援 予算額 6千6百万円

小水力発電開発を実施しようとする市町村・土地改良区等に対し、発電施設の設計から施工監理までの一括代行や、保守管理の受託などニーズに合わせた支援

項目	事業費	内容
菅平ダム小水力発電設備整備工事	66,000千円	神川沿岸土地改良区と県農政部が進める小水力発電設備整備を企業局が受託実施

電気事業への理解と関心の向上促進

予算額 1千5百万円 (R2:1千7百万円)

項目	事業費	内容
発電所見学会等	14,649千円	地域住民等を対象とした、小学生親子発電所体験、中学生体験学習等を実施

水の恵みを未来へつなぐ交付金 予算額 5千万円 (R2:3千万円)

企業局の発電所が立地する中山間地域の課題解決のため、市町村が先端技術等を活用し行政サービスの高度化を図る取組を支援するとともに、企業局と市町村が連携した事業の創出を研究

交付対象	企業局水力発電所(建設中のものを含む)の所在市町村
交付額	1市町村につき原則として3年以内で総額1千万円以内(定額)

一般会計への繰出しによる地域貢献 予算額 4億円 (R2:4億5千万円)

項目	事業費	内容
地方創生積立金からの繰出し	400,000千円	次代を担う子どもたちの教育環境整備支援(県立学校へのICT環境整備)

新たな電力供給のあり方の検討

- 以下の観点から、令和4年度以降の新たな企業局電力の供給のあり方を検討
- ・電力の地消地産
 - 2050ゼロカーボンや脱炭素社会づくり条例の具現化に向け、企業局電力のブランド価値を高め、電力の地消地産と地域内経済循環に資するこれからの売電のあり方を検討
 - ・大都市との交流
 - これまでの取組を踏まえ、売電を契機とした大都市との交流を引き続き推進